



高等学校地理歴史科・公民科における情報教育の視点

麗澤大学 国際学部
中園 長新
nnakazon@reitaku-u.ac.jp

● 本研究の目的と意義

- ・高等学校地理歴史科・公民科の必修科目における情報教育の視点を明らかにすることを通して、これらの科目において情報教育を実践することの可能性を検討する。
- ・情報科以外の教科（科目）においても情報教育の実践が可能であることを明らかにすることで、情報教育の本来の姿である、教科等横断的な学びとしての実践が期待できる。

● 情報教育とは

- ・情報教育 ≠ パソコン活用
- ・情報活用能力を育成するための教育
 - ・情報活用の実践力
 - ・情報の科学的な理解
 - ・情報社会に参画する態度
- ・高等学校における情報教育
 - ・情報科がその中核を担う
 - ・情報科だけが情報教育をやればいいのか？ → NO!

● 学校教育における情報活用能力

- ・学習指導要領総則に記載あり

第2款 教育課程の編成

2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- (1) 各学校においては、生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科・科目等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

- ・教科等を問わず、学校教育のあらゆる場面で扱うべき教育のひとつとして位置づけられる
- ・情報科以外でも情報教育ができるはず

● 情報科以外での情報教育

- ・ 情報科の学習指導要領では「公民科」「数学科」との連携が明記されている
 - ・ これらは代表例であり、他の教科が連携できないという意味ではない
- ・ 公民科で連携ができるのであれば、隣接教科(?)である地理歴史科でも連携しやすいのでは…?
- ・ 各教科の代表として必修科目に着目

● 参考：地理歴史科・公民科の科目構成

- ・ 2009 年学習指導要領
 - ・ 世界史 A/B からいずれか必修
 - ・ 日本史 A/B と地理 A/B からいずれか必修
 - ・ 現代社会が必修 倫理と政治・経済は選択
- ・ 2018 年学習指導要領



● 研究の方法

- ・ 下記科目の教科書を調査し、情報社会に関する記述を確認
 - ・ 公民： 公共 (12 種)
 - ・ 歴史： 歴史総合 (12 種)
 - ・ 地理： 地理総合 (7 種)
- ・ いずれも必修科目

● 「公共」における情報社会の扱い

- ・ 情報社会に関する頻出項目
 - ・ メディア・リテラシー
 - ・ AI (人工知能) の進化
 - ・ 個人情報保護、知的財産権 (≒情報倫理)
- ・ 情報社会の影の側面に注目した、抑制的な指導内容が目立つ
 - ・ SNS の危険性を強調するあまり、適切な活用について十分な言及がなされていない
 - ・ 抑圧的な情報モラル教育から、前向きなデジタル・シティズンシップ教育への転換が必要

- 「歴史総合」における情報社会の扱い
 - ・内容の「D グローバル化と私たち」（現代を扱う単元）等に現代の情報社会に関連する内容あり
 - ・キーワードの代表例：
SNS、IoT、AI、ビッグデータ、電子商取引、フェイクニュース etc.
 - ・歴史総合において情報社会を扱う視点
 - ・歴史的文脈やグローバル化との関わりの中での言及
 - ・インターネットの普及
 - ・ネットやスマホ等の身近な存在と世界との関わりに着目
 - ・教科書によって言及量に濃淡あり

- 「地理総合」における情報社会の扱い
 - ・学習指導要領レベルで地理情報システム（GIS）に触れている
 - ・ICTについて「産業」の視点から言及
 - ・産業という社会実装（応用）の視点でICTをとらえる
 - ・特定の国・地域におけるICTについての言及も多い
 - ・韓： 国全体の経済政策と関連づけてICT産業を説明
 - ・印： カースト制度との関係、優秀な技術者が多いこと
 - ・米： ICT産業における世界のリーダー的存在

- 各科目における情報教育の主な視点
 - ・公共
 - ・情報社会の発展
 - ・情報の光と影、情報倫理
 - ・歴史総合
 - ・現代社会の発展と情報化の関わり
 - ・現代史におけるICT（歴史的発展、情報のトレンド）
 - ・地理総合
 - ・地理情報システム（GIS）
 - ・世界全体／特定の国・地域におけるICT産業

● 授業実践に向けた提案

- ・授業はあくまでも「各科目の目標達成」を主とする
 - ・地歴公民で情報科の授業をするわけではない
- ・各科目の内容に則して、情報社会を扱う場面が出てきたらそこで情報教育を意図的に含めていく
 - ・地歴公民の視点に、情報教育の視点をプラスするイメージ
- ・情報科の学習内容が活用できる場面を検討
 - ・e.g.) 地理情報システム (GIS) を扱う際に、その背後にある情報技術について、情報科の学習内容を紹介する

● Summary

- ・高校地歴・公民科において情報教育の視点が含まれることを、教科書分析を通して明らかにした
 - ・公共： 情報社会の光と影、情報倫理
 - ・歴史総合： 現代史における情報・ICT
 - ・地理総合： GIS、世界や国・地域における ICT 産業
- ・各教科の学びの中で、情報教育を意図的に含めていく
 - ・地歴公民で情報科の授業をするわけではない
 - ・地歴公民の視点に、情報教育の視点をプラスするイメージ

● 本発表に関連する論文・発表

- ・中園長新 (2022) 「高等学校「公共」の教科書における情報社会の扱い」
情報処理学会 コンピュータと教育研究会 166 回研究発表会, 2022 年 10 月 1 日.
『情報処理学会研究報告 コンピュータと教育 (CE)』 Vol. 2022-CE-166, No. 9, pp. 1-8.
- ・中園長新 (2023) 「歴史教育の中で情報教育を扱う授業の提案」
日本教育工学会 2023 年春季全国大会, 2023 年 3 月 25-26 日.
『日本教育工学会 2023 年春季全国大会講演論文集』 pp. 215-216.
- ・中園長新 (2023) 「高等学校「歴史総合」の教科書における情報社会の扱い」
情報処理学会 コンピュータと教育研究会 170 回研究発表会, 2023 年 6 月 3 日.
『情報処理学会研究報告 コンピュータと教育 (CE)』 Vol. 2023-CE-170, No. 3, pp. 1-8.
- ・中園長新 (2024) 「高等学校「地理総合」の教科書における情報社会の扱い」
情報処理学会 コンピュータと教育研究会 175 回研究発表会, 2024 年 6 月 1 日.
『情報処理学会研究報告 コンピュータと教育 (CE)』 Vol. 2024-CE-175, No. 6, pp. 1-8.
- ・中園長新・野々山新 (2024) 「未来を創る歴史教育としての情報教育：AI との共生を考える「歴史総合」の授業実践」
情報処理学会 情報教育シンポジウム 2024 (SSS2024) , 2024 年 8 月 10-12 日.
『情報教育シンポジウム論文集』 Vol. 2024, 8p. (発表・掲載決定)